

教職大学院ニュースレター

Graduate School of Teacher Education

Spring 2015

1

待望の創刊号

現役生と全国津々浦々の修了生をつなぐ「教職大学院ニュースレター」は、年2回発行!!



「教職大学院ニュースレター発刊に寄せて」

教職研究科長 長崎 伸仁



現役の教職大学院生と修了生をつなぐ待望の「ニュースレター」が、このたびめでたく発刊の運びとなりました。編集の主体は現役の学生、それを広報委員会の教員が支えるという教職大学院らしいスタイルで今後さらに充実されていくことだと信じております。

創価大学教職大学院ではこれまでも修了生と現役学生とが交流する機会を多く設けてきました。毎年7月末に開催する連絡会総会に始まり、外部講師を招いての教育学部との共催の「教育フォーラム」、そして、創価大学教育学会、教職課題研究論文発表会、教育課題実地研究報告会等、機会も多くあったものの参加が叶わない方々にとっては今後、発刊され続けていくであろう「ニュースレター」は、まさに朗報だろうと思います。

「あの人はどうしているだろうか…?」「この人は、こんなに頑張っていますよ!」といったことが「ニュースレター」でつながれば、たとえ、全国各地に点在していても、「絆」は切れることはありません。そういった意味でも、この広報紙を育てていってくださることを心から願っております。

「学び続ける教員」「『新たな学び』を創造できる教員」—今、私たちに課せられた命題です。お互いに切磋琢磨して、晴れ晴れと創設8年目を迎えましょう!

創刊号目次

- ◇ 「教職大学院ニュースレター」発刊に寄せて
- ◇ 修了生、あの人は、今
- ◇ 現役生の紹介(写真)
- ◇ 卒業生代表抱負
- ◇ 木全先生が最終講義
- ◇ 現役生の活躍
- ◇ 「教育課題実地研究」合同報告会(H27年3月15日)の開催迫る!!
- ◇ 「教職課題研究論文」発表会が無事終了
- ◇ お知らせ
- ◇ 編集後記

巻頭言

教職大学院は開学以来7年が経過。「全国津々浦々で頑張っている教職大学院修了生をつなぎたい」そんな思いからこのニュースレターは、生まれました。晴れの日も雨の日も、創価の旗印を胸に、子どもの幸福に尽くす人間教育の教師たらんと歯を食いしばって頑張っている皆さん。教職大学院に集った私たち一人ひとりが日本のそして世界の教育をリードしていこうではありませんか!

修了生、あの人は今



本年2月、教職大学院に在籍するリーダーコース7期の井上大輔さんと教職大学院の卒業生でプロ1期生の西中克之さんが共著で小学校教員向けの学習参考書を出版しました。書籍はナツメ社からの出版で、タイトルは「楽しみながら確実に覚える歴史人物と年表」です。お二人にお話をうかがってみました。



○本の出版、おめでとうございます。井上・西中：「ありがとうございます。」

○出版に至る経緯を教えてください。西中：「教職大学院の宮崎先生から連絡をいただきました。宮崎先生から歴史人物についての執筆が出来る人としてお話をいただいたのです。」井上：「本当に光栄でした。」

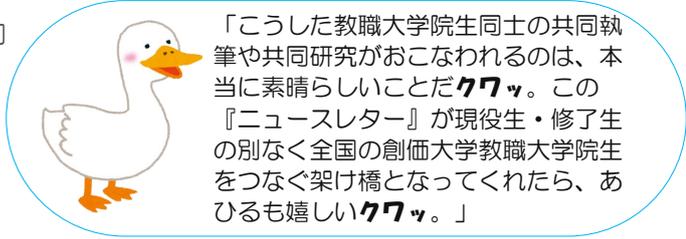
○執筆中はどのような作業だったのですか？西中：「はじめの打ち合わせで宮崎先生や井上さんとアイデアを出し合い、出版社に伝えました。それを出版社がまとめてページ構成を考えてくださいました。あとは2人で分担をして42名の歴史人物のシートや問題を考え、メールで何度も出版社の方とやり取りをしていきました。」井上：「私自身も歴史を勉強し直すことができ、貴重な経験となりました。」



タイトル：『楽しみながら確実に覚える 歴史人物と年表』
発行日：2015年3月9日（初版）
著者：西中克之・井上大輔
発行者：田村正隆
発行所：株式会社ナツメ社
制作：ナツメ出版企画株式会社
定価：本体2,300円＋税

○この本のおすすめはどんなところですか？西中：「左のページに解答があり、右のページは書き込み式になっているところです。」井上：「授業でそのまま活用できますし、家庭での事前学習にも効果的です。」

○最後に一言どうぞ西中：「多くの方々に読まれてほしい本です」井上：「ぜひ、教職大学院のみなさんにも活用してほしいです。」



「こうした教職大学院生同士の共同執筆や共同研究がおこなわれるのは、本当に素晴らしいことだクワッ。この『ニュースレター』が現役生・修了生の別なく全国の創価大学教職大学院生をつなぐ架け橋となってくれたら、あひるも嬉しいクワッ。」

現役生の紹介



※各期の皆さんには、その期を表すにふさわしい四文字熟語を考えて頂きました。

5期プロ3

不撓不屈



金 銀中、篠原 知晃、島谷 賢吾、竹永 亮太、田邊 将也、田原 秀作、中嶋 千加、福崎 博幸、美甘 光生

6期プロ3

明朗闊達



有本 弘樹、安藤 祐子、小川 真美、越 智晃、栗本 エルベ、高橋大地道法 和徳、中山 勇輝

代表

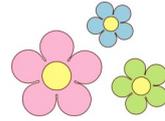


抱負

一年から三年に及ぶ教職大学院生活を終え、新たな旅立ちの時をまもなく迎えようとしている修了予定者の中から代表の方に抱負を頂きました。



松本明子さん（6期プロ2）



こんにちは。6期プロフェッショナルコース2年の松本明子と申します。沢山の方々に支えられ、今年度から東京都の小学校教員として子供たちに携われることとなりました。「教員として向上していけるよう、考える力を身につけたい」と決意して進学したのが、つい先日のように感じます。自分自身を振り返ってみると、大学院に進学して心から良かったと実感しています。ですが、本当の勝負は修了してからであり、修了生の姿を通して大学院の真意が問われてきます。子供たちのために常に根本に据え、自身の弱さに負けず、信頼される教員になります！



ちなみに、このニューズターで使われているイラストは、全て著作権フリーの素材だから安心してね！

（様々な色の花。）

（人知れず、熱心に努力すること。）

6期プロ2 千紫万紅

7期プロ2 冥冥之志



奥田 和也、幸田 静恵、坂岡 沙織、佐野 弘志、徳本 直也
林 法子、松本 明子、眞部 晃一、村田 賢治

梅田 宇大、坂上 翔馬、中山 隆史、沼田 拓弥、藤永 喜美子
宮崎 良夫、安村 晃子

（秀でた人物が多く出て、優れた業績が一時期に沢山現れること。）

（すばり。）

7期プロ3 百花繚乱

7期リーダー 現職教員



大崎 勇気、小川 拓哉、籠嶋 迅、坂根 喜代美、中島 拓弥、橋川 誠

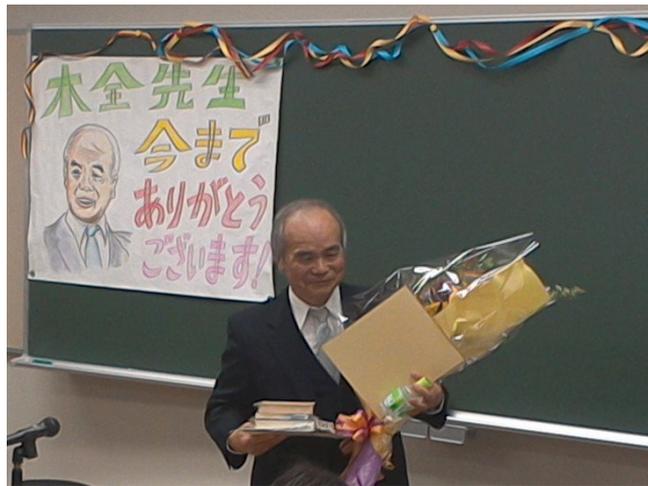
渡邊 菜穂子、相川 猛、荒井 良男、井上 大輔、加藤 伸秀、栗林 誠
古川 卓也



木全先生が

最終講義

平成26年度をもって、本学をご退職される木全力夫先生の最終講義が平成27年1月21日(水)に教職大学院棟V309教室にて行われました。「私の教育研究の歩み これまでとこれから」とのテーマのもと最終講義をして下さいました。これまで出会った恩師の先生方とのエピソードを通して、改めて人間教育とは何かを考えるきっかけを与えて頂いたように思います。木全先生、これまで本当にありがとうございました！いつまでもお元気でいて下さい！



本年度の「教職課題研究論文発表会」が無事終了!!



1月31日(土)午前9時、長崎研究科長の挨拶とともに開幕。会場となったV309・V409教室には溢れんばかりの聴衆が。V309にてトップバッターを切ったのは、5期プロ3の中嶋千加さん。「低学年における係活動を通じた児童の『己』の深化と変容」と題してプレゼン。中嶋さんは、昨年10月に行われた日本協同教育学会の全国大会でも学会発表を。本年度修了予定者の計23名が無事に研究発表を終えた。



「教職大学院ニュースレター」の名称を大募集!!

各期の部屋ごとに名称を喧々諤々と議論。しかし、未だ結論に至らず。「もっとパンチの効いたのはないのか」との熱き怒号がV棟にこだまする。プロ6期のAさんは、「何で私たちの採用されないんですか」と編集部に詰め寄る一幕も。教員の側から出た「教職☆ざらり」は学生によってあっさり却下(T.T)。全国の教職大学院修了生の皆様からのご応募お待ちしております。ご応募は、次の宛先まで: mitumura@soka.ac.jp

記事の投稿も常時受け付けています。皆様のご活躍を是非、編集部までお知らせ下さい!(送付先は↑と同じ。)

教職大学院ニュースレター 第1号編集部

編集長 井上大輔(大ちゃん)
副編集長 眞部晃一(あいちゃん)
編集部 藤永喜美子(ねえさん)
中嶋千加(なかぢ)
栗本エルベ(エルベ)

来たれ、編集部員!!

教職大学院NL第2号 編集部員大募集!!

編集部員の大量卒業につき、第2号にして早くも編集部員不足。編集や校正に興味のある方は、まずは教員までお声かけを。これであなたも「新づくり名人」間違いなし!!

☆現役生の活躍☆

昨年12月7日に「日本教職大学院教会研究大会」が開催され、本学教職大学院を代表して6期プロコースの坂岡沙織さんが発表を行いました。坂岡さんは、「児童期における自己価値・他者価値・自己主張性の関連」をテーマに堂々と研究内容をプレゼン形式で説明。参加していたある大学教授からも称賛されるなど、好評でした。



「教育課題実地研究」合同報告会の開催迫る!!



昨年の模様

創価大学教職大学院では国内・国外4地域の先進校を実際に訪問して学びを深める「教育課題実地研究」という特色ある授業を開講しています。本報告会では、実際に実地研究を行った学生が現地の様子も交えながら報告を行います。本教職大学院の特色ある授業の報告を是非一度お聞きください。教職員一同、心よりお待ちしております。

日時:平成27年3月15日(日)
13:00~13:05 開会の挨拶 木全教授
13:05~15:05 教育課題実地研究合同報告会
15:25~16:25 教育課題実地研究分科会
16:30~17:00 全大会
17:00~17:15 閉会の挨拶 長崎研究科長

場所:創価大学 中央教育棟6F
参加費:無料

申込方法:件名に「合同報告会申込」、本文に氏名・連絡先・住所・勤務先をご記の上、次の宛先までEメールをお送り下さい: kyoshoku-d@soka.ac.jp

たった一度、任用前研修のために編集会議を休んだその間に「副編集長」になっていました6期プロ2のあいちゃんです。「創価大学教職大学院ニュースレター」(名前はまだない。)の創刊号の発刊に携わることができ、本当に幸せです。

さて、修了生の皆さんお元気ですか。毎日の教育実践お疲れ様です。四月から、私もそちら側の仲間入りとなります。医学部の友人から聞いた話ですが、医学部ではたった一科目単位を落とすだけでも、そのセメスターの全ての単位は取得できず留年だそうです。なんと大変な話ですが、人の命を預かる職業としては、当たり前のごとくかもしれません。同じ専門職である私達教員はどうでしょうか。「人の命を預かる」と云えばオーバーですが、「子どもの幸福を預かる」職業と云えるのではないのでしょうか。今の自分に満足することなく、子どもの幸福を預かる者としての責任を自覚し、修了後も理論と実践の往還で学び続ける教師を目指したいと思います。皆さんも、日々の教育実践の成果を是非「創価大学教職大学院ニュースレター」(名前はまだない。)編集係までお寄せください。陸続と集う同士と共に、創立者から頂いた三指針を目指し、「人間教育」の体現者へと成長して参りましょう!

